

～町村議会広報研究会～

楽しみになる『議会だより』づくり

年4回発行されている「議会だより」は、隅々までご覧いただいていますでしょうか？7月5日千葉県町村議会広報研究会へ参加して改めて作り手がもうひと工夫した構成等をし、楽しみとなるような一層読みやすい議会広報の紙面づくりに努めたいと感じました。

本来の役割を考えると①誰のため何のための広報か＝町民の自治体政策に関する判断材料の充実を図る②住民と議会との関係性を築く＝議会の議事を公開し、説明責任を果たす。また、読者の関心に応え町民とのつながりを進める③情報共有から参加・協働へ＝政策情報の集約・公開から、更に「参加・行動」を促し「自分ゴト化」への意識を高める。など、考慮したものになっているかを念頭に置き『伝わるまでが議会活動』と捉え、議会広報づくりに努力してまいります。



～山武郡市議会議員研修会～

町民と行政と議会とが一体となったまちづくり

山武郡市議会議員研修会において『SDGsと地域社会』というテーマの講演があり、日本の人口が急速に減少している中で、どう地方の未来を描いていくのかなどについて学びました。研修を通じて、国は、都市部の過度の人口集中を是正し、地方を豊かに暮らしやすく発展させることで、日本社会全体を押し上げていく方向に動いていることに改めて気付きました。地方自治体が地域の特性を生かして「主体的に」事業を展開していくために、国は様々な交付金を用意しており、地方を支援しようとしている。そのよ



うな国の制度をまずは知ること、そして正しく理解し、町がきちんと制度を利用できているのかを議会でチェックしたり応援したりしていくことが大事だと講師の方がおっしゃっていたのが印象的でした。研修を受け、町民のみなさまと行政、議会が一体となって、より良いまちづくりをしていく必要性を改めて強く感じました。